２０２３（令和５）年度　自己評価・学校関係者評価報告書

２０２４（令和６）年３月８日

学校法人雲柱社　松沢幼稚園

1. 本園の目標

・キリスト教に基づく保育（自らを尊び、他者を尊ぶ）

・遊びを大切にする保育

・自然を感じる保育

1. 本年度重点的に取り組む目標・計画
   1. 保育の見える化

・ホームページやインスタグラムを利用し松沢幼稚園の保育を「見える化」する。

・現場だけでなく、いろいろな人の意見を取り入れる。

・園外に出掛けていき、地域の人や育った環境に親しみを持つ。

* 1. 記録のICT化（引き続き）

・インターネットを活用した業務**支援システム（**ICTシステム）を導入し、保育記録の入力や書類作成、登降園管理、各種情報の閲覧などを行うことで、園児の状況を職員で共有できるようにする

* 1. 課外活動、未就園プログラム、長期休暇等の見直し

・新しくダンス教室を始める。（課外教室）

・長期休暇中の活用について検討する。

・わらべ歌、ベビーマッサージ、絵本講座、親子ヨガ教室等、未就園児や保護者が参加できるプログラムを検討し、ポスターやホームページ、社会福祉協議会のメールマガジン等で外部に知らせていく。

1. 評価項目の達成及び取り組み状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
| １ | 保育の見える化  ・ホームページやインスタグラムを利用し松沢幼稚園の保育を「見える化」する。  ・現場だけでなく、いろいろな人の意見を取り入れる。  ・園外に出掛けていき、地域の人や育った環境に親しみを持つ。 | A | ・ホームページ、インスタグラムを充実させ松沢幼稚園の保育の「見える化」に努めた。  ・未就園児事業の申し込みを、ホームページのフォームより申し込みをする形式にしたことにより、未就園児保護者による閲覧者が増えた。  ・社会福祉法人雲柱社「祖師谷保育園」のおひさま広場を見学し、子育て支援についてアドバイスを受けた。  ・烏山地域協議会の勉強会に参加した。  ・社会福祉法人雲柱社「いずみの園保育園」の年長組園児を招き、年長組との交流の時間を持った。  ・近隣のスーパーや地域センターに、園児の作品を展示した。  ・児童館、地域センター、消防署、教会、公益財団雲柱社等に出掛けていき、日ごろの感謝を伝えた。  ・祖父母にハガキを書き、一人ひとりポストに投函をしに行った。  ・児童館の行事「風太郎フェスティバル」にて、保護者が手作りおもちゃのコーナーを開設し、園児たちが参加した。  ・上北沢区民センターの行事「ひな祭り子どもフェスティバル」にて、保護者がポップコーン販売のコーナーを手伝い、子どもたちは餅つきやカルタ取り、子ども縁日等で楽しんだ。  ・公園に出掛けて行き、地域の人と触れ合った。  ・地域に住む卒園生保護者より笹をいただき、七夕飾りを飾った。  ・地域に住む卒園生保護者のご協力で、畑でじゃがいも掘りの体験をさせていただいた。また感謝祭礼拝のために畑で収穫した野菜や果物を提供していただいた。 |
| ２ | 記録のICT化 | A | ・出欠席、出退記録をKidsDiaryで管理し共有した。  ・園日誌やクラス日誌の記録をKidsDiary に書き込みICT化した。  ・KidsDiaryは今年度導入したシステムの為、まだ使用していない機能もあり、今後それらの機能を取り入れていくか検討していく。  ・未就園児事業の申し込み方法にフォームを活用したことにより、情報管理がしやすくなった。 |
| ３ | 課外活動、未就園プログラム、長期休暇等の見直し | Ａ | ・課外活動として、ヒップホップダンス教室を始めた。  ・未就園児プログラムとして、「わらべ歌」「ベビーマッサージ」を行った。  ・未就園児のために園庭を開放し、園児と遊んだり、一緒にリズム遊びをしたりして交流を深めた。  ・子育て支援の一環として、未就園児保護者のためにヨガ教室、絵本講座を開催した。  ・長期休暇にはワークショップを開催した。（楽器を作って遊ぼう、お花紙でアートセラピー、親子で折り紙、夏休みスペシャルお話会、親子ダンス、ランニング教室、石鹼デコパージュ）春休みには、好評だった「ランニング教室」のほか、「空手教室」も開く。 |

評価Ａ.充分に成果があった Ｂ.成果があった　Ｃ.少し成果があった　Ｄ.成果がなかった

1. 総合的な評価結果

|  |  |
| --- | --- |
|  | 理由 |
| A | 今年度から開設したインスタグラムの投稿に保育の様子を掲載し、「保育の見える化」を図った。記録のICT化は、職員間の情報通信技術の知識を共有することにより進められたが、今後もシステムの活用を勉強していく。また新しい試みとして、長期休暇中のワークショップを開催し、参加者から高評価を得た。3つの評価項目について重点的に取り組むため、職員間で他の幼稚園の情報を持ち寄り共有したり、アイデアを出し合ったり、活発に話し合い保育の質を高めた。 |

５．今後取り組む課題

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 課題 | 具体的な取り組み方法 |
| １ | 保育の見える化と発信 | ・引き続き、ホームページやインスタグラムを充実させ、松沢幼稚園の保育を「見える化」する。また保護者による保護者目線のインスタグラムも開設する。  ・地域の中で世代を越えて繋がり、子どもたちのことを一緒に考え、見守っていくために「すくすくメッセ」に参加する。またその機会に、松沢幼稚園を知ってもらう。 |
| ２ | 幼児教育の内容、方法の改善 | **《身近な自然に触れ、自然の良さに気付く》**  ・園庭の落ち葉を集めて子どもたちと腐葉土を作り、その土で野菜や花を育てる。  ・保護者も腐葉土に関心を持って貰えるよう、活動を共有していく。  ・腐葉土の中に住む虫について知る。  ・自然観察体験により、季節に応じた自然の変化を感じ取る。  ・専門家を招いてビオトープを作り、管理し、定期的に学びの時を持つ。  **《言葉を育てる》**  **・**文庫活動をされている方を招き、定期的にお話会を開催する。  **・**専門家のアドバイスを受け、子どもたちに質の良い絵本を読み聞かせる。 |
| ３ | 家庭、地域における幼児教育の支援 | ・新しくサッカー教室を始める。（課外教室）  ・夏休みに預かり保育を実施する。  ・「定期的預かり保育」を始める。  ・引き続き、長期休暇にはワークショップを企画する。  ・保護者、地域の子育て世帯を対象に、専門家による「言葉を育てる」講座を定期的に実施する。  ・子育て支援の一環として、引き続き専門家を呼び、未就園児プログラム「わらべ歌」「ベビーマッサージ」「ヨガ講座」「絵本講座」等企画していく。 |

　学校関係者評価報告書

・保育の見える化では、時代の変化に対応しインスタグラムの活用やホームページでの申込みなどにより閲覧者が増え見える化が前進している。また地域の保育園との交流や園外に出かけて地域の方との交流が活発に行われた。

・記録のIT化では、出欠席、出退記録、園日誌、クラス日誌の記録をKidsDiaryで行いICT化が前進している。未就園児事業で申込方法にフォーム活用するなど情報管理が前進した。

・課外活動、未就園児プログラム、長期休暇の見直しでは、様々なプログラムを提供し、大変好評を得ている。